

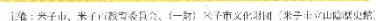
歴史館だより

Three cartoon characters are shown, each wearing a helmet and holding a sign. The character on the left is blue and wears a blue helmet with a large 'R' on the front. The character in the middle is pink and wears a pink helmet with a large 'S' on the front. The character on the right is yellow and wears a yellow helmet with a large 'K' on the front. All three characters have large eyes and are smiling.

歴史館のマスコットキャラクター
れきくん しーちゃん かんくん

—米子市周辺の事件と市民の暮らし—

館蔵品等の戦争に関する資料の展示と米子市周辺の戦争遺跡を紹介します。



開館時間 9:30 ~ 18:00 (17:30 までに入館)

期間中の休館日 毎週火曜日

観覧料 無料

連 携 展 示 会 報 告

第 16 回史跡鳥取藩主池田家墓所写真コンクール作品展

令和 5 年 6 月 24 日（土）～7 月 23 日（日）

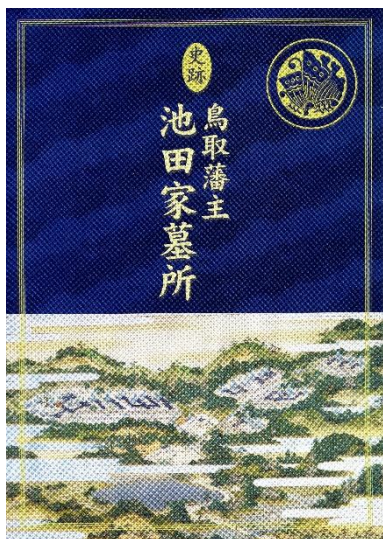
山陰歴史館では、毎年、関係施設や機関と連携して色々な催しを行っております。6 月 24 日（土）から 7 月 23 日（日）にかけて、第 1 展示室で（公財）史跡鳥取藩主池田家墓所保存会と共催で「16 回史跡鳥取藩主池田家墓所写真コンクール作品展」を開催しました。

「鳥取藩主池田家墓所」は、元禄六年（1693）に因幡・法規 32 万石の初代藩主池田光仲が亡くなり、現在の鳥取市国府町奥谷に埋葬されたことに始まります。

墓所には、初代以後の歴代藩主 11 代とその夫人、分家の当主などの 78 基の墓碑と、260 基を超える灯籠が立ち並んでいます。池田家墓所の特色は亀の形をした石台に円筒扁平な墓碑を建てた「亀趺円頭」と呼ばれる形式の大きなものです。

この墓所は、江戸時代の大名の墓制を良くとどめていることから、昭和 56 年(1981)に国の史跡に指定されました。

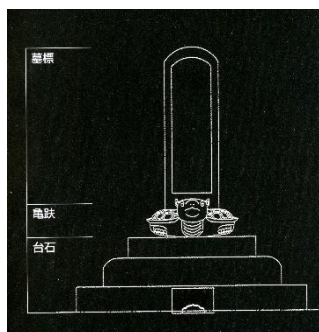
この写真コンクールは史跡鳥取藩主池田家墓所を知っていただくために、平成 18 年(2006)から開催され、県内外から多数の形の応募があり、その中の入賞作品を展示したものです。
(文章 史跡鳥取藩主池田家墓所リーフレットの解説から引用改変)



ト



展示会場風景



史跡鳥取藩主池田家墓所リーフレット・亀趺円頭墓碑形態・亀趺写真

2階 展示室 「列車ヘッドマーク」

米子駅の改築に伴いJR西日本米子支社から、同社が所有していた鉄道資料を数多く寄贈を受けました。そのうち列車のヘッドマークは60点もあります。

2階展示室では、鉄道関係の写真や資料などともに、数点のヘッドマークを常設展示しております。

列車の愛称がデザインされたヘッドマークは、鉄道ファンのみならず乗車した人の記憶と共に多くの人に親しまれています。



2階展示室「米子市の人物伝Ⅱ」－皆生ゆかりの人たち－

皆生の歴史や皆生温泉の開発に携わった人たちと、皆生にある彫刻に関する人等を紹介しています。

皆生の開発の祖は、戦国時代に海浜の荒れ地に尼子氏浪人の八幡新兵衛が帰農して始められたと伝えられています。皆生温泉の始まりは、明治33年(1900)に海岸の浅瀬に温泉がわきだしているのを漁師が発見したのが始まりです。

本格的な温泉開発は、大正10年(1921)に有本松太郎が皆生温泉土地株式会社を設立して始まりました。そして、自動車や電車、旅館などのインフラも整備され、急速に観光地として賑わいました。温泉開発から百余年後の今日では、年間80万人の人たちが訪れる保養地となっています。また皆生には、この地にちなんだ記念碑や米子刻シンポジウム彫刻も設置され町を彩っています。



有本松太郎

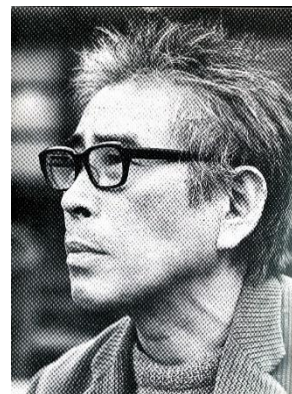
会 期



坂内義雄



遠藤光徳



辻晋堂

令和5年8月2日(水)～10月16日(月)

令和5年度の主な展示事業

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城展、昔の暮らし 展、鉄道のまち米子の 歴史展、人物展ほか	国史跡米子城跡、鉄道資料、民俗資料、郷土ゆ かりの人物などの歴史をとおして、人々の暮らし の様子を紹介する。 入館料無料	通年・随時展示替
企画展 「郷土の看板展」	郷土所縁の看板とその関連資料を展示する。看板 にスポットを当て、商都米子を形成した商家 や米子周辺にあった公共施設などについて紹介 する。 入館料 300 円 (終了しました)	4 月 23 日(日)～ 6 月 11 日(日)
共催展 「池田家墓所写真コン クール展」	池田家墓所の写真コンクール入賞作品を展示 (共催：公財史跡鳥取藩主池田家墓所保存会) 入館料無料 (終了しました)	6 月 24 日(土)～ 7 月 23 日(日)
館蔵品展 「資料で語る郷土の戦争」	館蔵品等の中から戦争関係の資料を紹介する。 入館料無料	8 月 6 日(日)～ 9 月 3 日(日)
企画展 山陰線全通 90 年記念 「レッツゴー山陰本線 ー日本で一番長い在来線ー」	昭和 8 年(1933)に山陰本線が、京都～幡生間全 線開通して 90 年を迎えることを記念し、山陰本 線沿線の駅の歴史や観光地を、写真やパンフレ ット、駅弁包み紙など関連資料を展示し紹介。 入館料 300 円	9 月 16 日(土)～ 11 月 5 日(日)
企画展 「山陰歴史館復活開館 70 年記念展(仮称)」	昭和 28 年(1953)に山陰歴史館が旧小原家長屋門 で戦後の復活開館を迎え 70 年になる。同年の湊 山球場開場などの他、近年の湊山周辺の変遷、 ならびに米子城跡について紹介。 入館料 300 円	11 月 19 日(日)～ 令和 6 年 1 月 21 日 (日)
館蔵品展テーマ(未定)	館蔵品の中から、テーマを決めてその歴史を紹介 する。 入館料無料	令和 6 年 2 月 4 日(日) ～ 3 月 31 日(日)

米子市立山陰歴史館



開館時間 9:30～18:00 (17:30 までに入館)

休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12 月 29 日～1 月 3 日

〒683-0822 鳥取県米子市中町 20 番地

電話/0859-22-7161 fax/ 0859-22-7160

<http://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail:saninrekishikan@dear.net.jp [編集：小原]